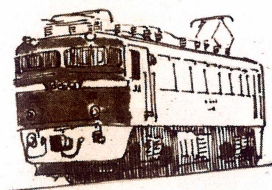


1976・7 NO.113 Vol.10 NO.8

- 昭和51年 5月20日印刷
- 昭和51年 7月1日発行
- 編集・発行者 竹島紀元
- 編集スタッフ
金子俊夫／塚本雅啓／松尾定行
白井朝子／宮原正和
- アートディレクト 岡田徹也
- 発行所
(株)鉄道ジャーナル社
〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6
日産ビル 電話03(264)1891・1892
振替口座 東京9-82820番
- 印刷所 凸版印刷株式会社



特急の夜行運転は戦前に〈富士〉〈桜〉の例があるが、東京と下関あるいは長崎を結ぶため運転時刻が深夜にまたがらざるをえなかったケースであり、夜行を主体とした特急は戦後の東京―九州「直行」列車〈あさかぜ〉が初めて、昭和31年(1956)のことであった。関西地区を深夜に走るといふ画期的な構想で生まれた〈あさかぜ〉が予想以上の好評を博し、順調に成長をつづけたことが、現在の全国的な寝台特急網形成への発展につながったと考えることができる。社会の高度成長という裏づけがあったとはいえ、この20年間の寝台列車の成長発展は「長距離輸送」に活路をもとめる国鉄に大きなメリットとなったばかりでなく、利用者への素晴らしい贈物でもあった。この間、〈あさかぜ〉はブルー・トレインへと変身し、その成功を受けて相次いで登場したブルー・トレイン群は20系から14系・24系さらに「2段ハネ」へと飛躍的な発展をとげつつある。〈あさかぜ〉に代表されるブルー・トレインの歴史は、国鉄の長距離旅客輸送の近代化発展のあゆみでもあったといえることができる。

目次 特集●特急〈あさかぜ〉とブルー・トレイン

- 7 レールウェイ・レビュー ある新線開通
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
- 14 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集 特急〈あさかぜ〉とブルー・トレイン

- 15 はるかなる旅立ち 永崎祐之

ドキュメント★列車追跡⑦

- 24 〈あさかぜ〉は博多をめざす

檀上完爾／宮原正和

河野 豊／白井朝子／井上広和

- 52 〈あさかぜ〉誕生秘話 深水宗孝

「名列車」誌上リバイバル⑬

- 56 夜行特急第1号〈あさかぜ〉の20年―その1 竹島紀元

- 67 ブルー・トレインの機関車と運用 太田詔三

- 79 夜の鉄路を彩る青いスターたち 編集部

RJ技術解説シリーズ⑬

- 92 ブルー・トレインの電源車 田中 宏

- 96 ダイヤからみたブルー・トレイン 佐々木康治

- 104 転換期に立つブルー・トレイン 田崎乃武雄

- 106 夢の豪華寝台特急

種村直樹／岡田徹也

- 114 トップ・アングル

☆レールウェイ・トピックス

- 115 動き始めた相模鉄道のいずみ野線

- 117 レールファン・ノートから⑪ SL なきあとの焦点 本島三良

- 126 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(29)

電気機関車⑦

山之内秀一郎

●路面電車再発見⑦

- 132 土佐電気鉄道軌道線／伊予鉄道松山市内線

日本路面電車同好会

- 138 ある先覚者の軌跡をたどる⑦ 青梅鉄道 伊藤東作

- 118 ブルー・トレイン

- 124 ワイドレンズ／新刊紹介／魚眼／ズームレンズ／新聞記事ざっくばらん／タブレット／RJクイズ／次号予告／乗務員室

表紙／星影の鉄路(下り〈あさかぜ〉1号)

カメラ・永崎祐之